

○ 飼料備蓄・増産流通合理化事業

【令和7年度予算概算決定額 1,760（1,820）百万円】
（令和6年度補正予算額（所要額）13,260百万円）

<対策のポイント>

飼料生産基盤に立脚した持続的な畜産経営の推進に向けて、国産飼料の生産・利用拡大を図るため、**飼料生産組織の人材確保・育成、国産濃厚飼料の生産・利用の推進等**の取組を支援します。また、飼料の安定供給を図るため、**飼料穀物の備蓄や飼料輸送の効率化の実証、配合飼料工場の事業再編に向けた調査等**の取組を支援します。

<事業目標>

- 飼料自給率：25%→34% [平成30年度→令和12年度まで]
- 畜産農家への安定的な配合飼料の供給

<事業の内容>

1. 国産飼料増産対策事業

- ① 飼料生産組織の体制強化等支援
オペレーター確保のための**募集活動**、**大型特殊免許**や**必要な技術資格の取得**、**人材育成のための研修**、**人員・機械の有効活用状況調査**を支援します。
- ② 国産濃厚飼料生産の推進
子実用とうもろこし等の国内生産・利用を推進するための**生産技術実証・普及等**の取組を支援します。

2 飼料穀物備蓄・流通合理化事業

- ① 飼料穀物備蓄
不測の事態に備え、配合飼料製造業者等が事業継続計画（BCP）等に基づき実施する**飼料穀物・飼料作物種子の備蓄**や、関係者間の**連携体制の強化**、**輸入先国の多様化の検討**の取組を支援します。
- ② 飼料流通・製造合理化
飼料輸送の効率化に資する実証等の取組、**配合飼料工場の事業再編に向けた調査等**の取組を支援します。

国産飼料生産・利用拡大緊急対策

【令和6年度補正予算額】（所要額）13,260百万円

<事業の流れ>



<事業イメージ>

1. 国産飼料増産対策事業

- ① 飼料生産組織の体制強化等支援
 - 人材確保・育成
 - ・就職説明会への参加
 - ・研修の実施
 - ・免許取得等
 - 人員・機械の有効活用
 - ・オペレーターの相互派遣
 - ・機械の共同利用等調査

飼料生産組織の体制強化による国産飼料の生産作業受託や生産・販売の拡大
- ② 国産濃厚飼料生産の推進
 - 子実用とうもろこし
 - 未利用資源
 - ・子実用とうもろこし等の生産技術の実証・普及
 - ・未利用資源等の利用技術の実証・普及

2. 飼料穀物備蓄・流通合理化事業

- ① 飼料穀物備蓄
 - 飼料穀物等の備蓄（定額、1/3以内）
配合飼料製造業者等が実施する飼料穀物等の備蓄の取組を支援
 - 配合飼料の緊急運搬（定額、1/2以内）
国内の災害時等に、配合飼料供給困難地域への緊急運搬を支援
 - 関係者間の連携体制の強化や輸入の多様化の検討（定額）
平時における関係者の連携体制の強化や輸入先国の多様化の取組を支援
- ② 飼料流通・製造合理化
 - 飼料輸送の効率化実証（定額、1/2以内）
センサーやタンク蓋開閉装置等を用いた飼料の在庫・配送管理等の効率化実証等を支援
 - 配合飼料工場の事業再編に向けた調査等の取組（定額）
事業再編に向けた検討会の開催や調査、計画策定の取組を支援

【お問い合わせ先】（1の事業）畜産局飼料課（03-6744-7192）
（2の事業）飼料課（03-3591-6745）